

## (3) 吾妻地域 ～ あがつまの農業・農村の可能性を飛躍させるために ～

## 「水」の保全整備

- 農業水利施設の適時適切な保全対策により、施設の維持管理費を低減するなど地域農業を維持保全する。
- 営農用水を確保することにより、高原野菜の品質や高い生産性を維持する。
- 農業用水を活用した小水力発電施設整備を支援し、農業用水の維持管理費の低減に向けて、再生可能エネルギーの導入を推進する。

## 【当該年度評価の総括】

## 1 農業水利施設の保全管理

- 美野原2期地区の鷲尾沢掛樋について、次年度の耐震化対策に向けた実施設計を取りまとめた。

## 2 高原野菜の営農用水の確保

- 干俣地区において、営農労力の省力化に向けた管路工2.3km、受水槽1基の整備を実施した。

## 3 再生可能エネルギーの導入促進

- 中之条町美野原用水において、小水力発電施設の安定した運転に向けた支援を行った。

## 4 土地改良区の運営体制強化推進

- 6土地改良区に対し、土地改良区体制強化基本計画の推進に向けた支援を行った。

## ◆ 農業水利施設の保全管理

取組内容	計 画	実 績	評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策 ----- 1地区を実施 ※ 美野原2期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利施設の保全対策 ----- 1地区を実施 ※ 美野原2期</li> </ul>	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・鷲尾沢掛樋について、次年度の円滑な耐震化対策に向けた実施設計を取りまとめた。		
現状分析課題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・鷲尾沢掛樋の耐震化対策において、施設周辺の地形や近接家屋への対応など、施工条件が非常に厳しいため、早期の工事着手が可能となるよう、地元地権者及び関係機関等との協議・調整を図る。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>基幹農業水利施設の保全対策に着手した地区数 [地区]</b>						
目 標	—	—	1	1	1	1
実 績	1	1	1	1	1	2
<b>保全対策により農業用水の安定供給が維持された農地面積 [ha]</b>						
目 標	—	—	206	206	206	206
実 績	18	89	104	129	206	206

※ 数値は、累計値。

## ◆ 高原野菜の営農用水の確保

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 水管理及び営農労力の省力化のための整備 ----- 管路工の実施 ※ 千俣	▶ 水管理及び営農労力の省力化のための整備 ----- 管路工の実施 ※ 千俣	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・ 営農労力の省力化に向けた管路工 2.3km、受水槽 1 箇所の整備を実施した。 ・ また次年度の円滑な事業推進に向けて、受水槽 2 箇所の実施設計を取りまとめた。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・ 引き続き水管理及び営農労力の省力化に向け、事業の進捗を図る。 ・ 建設業者が台風第 19 号に係る早期の災害復旧工事を優先的に実施しているため、円滑な管路工並びに受水槽設置に向け、地元関係者、建設業者、及び関係機関等との協議、調整を図る。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
営農用水確保のための事業着手地区 [地区]						
目 標	—	—	—	1	→	1
実 績	—	—	—	1	→	1

※ 数値は、単年度取組数。

## ◆ 再生可能エネルギーの導入促進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 小水力発電施設の運営 ----- 1 地区を支援 ※ 中之条	▶ 小水力発電施設の運営 ----- 1 地区を支援 ※ 中之条	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・ 安定した発電用水確保に向け、美野原土地改良区から夜間の用水の取水制限の呼びかけや、落ち葉等による除塵機の目詰まりを減らすため、多面的機能支払交付金で水路に盖板を設置するなど、土地改良区と協力し支援を行った。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・ 安定運転に必要な発電用水確保のための調整を美野原土地改良区と協力し支援する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
農業用水を活用した小水力発電施設の稼働数 [施設]						
目 標	—	—	—	1	→	1
実 績	—	—	—	1	→	1

※ 数値は、単年度取組数。最終年度のみ累計値。

## ◆ 土地改良区の運営体制強化推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 土地改良区体制強化基本計画の推進 ----- 6 土地改良区の支援 ※ 美野原、孺恋、青山市城、中之条沢田用水、横尾、岡崎用水	▶ 土地改良区体制強化基本計画の推進 ----- 6 土地改良区の支援 ※ 美野原、孺恋、青山市城、中之条沢田用水、横尾、岡崎用水	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・土地改良区の抱える課題を把握するため巡回訪問して聴き取りを行い、この結果を意見交換会で検討し、共通認識を高めた。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・法改正による貸借対照表の作成に備えて、施設管理の重要性を周知することにより、きめ細かい支援を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
土地改良区体制強化基本計画を策定した土地改良区数 [土地改良区]						
目 標	—	—	1	2	4	6
実 績	—	—	0	2	4	6

※ 数値は、単年度取組数。最終年度のみ累計値。

## 「土」の保全整備

- ▶ 担い手への農地集積を図り、生産性と収益性の高い農業経営を目指す。
- ▶ 吾妻地域は、県内でも野生鳥獣被害が多いことから、侵入防止柵等の設置を支援するなど、農作物被害を軽減し安定的な農業経営を目指す。
- ▶ 基幹的な農道の適時適切な保全対策を行うことにより、地域の農産物輸送の経路を維持保全する。

## 【当該年度評価の総括】

## 1 事業を契機とした担い手への農地集積

- ▶ 仙之入地区では、農道整備による営農条件を改善し、担い手へ農地を集積した。

## 2 野生鳥獣被害の防止

- ▶ 高山村、東吾妻町の2町村の侵入防止柵設置を支援した。

## 3 生産・流通と農村地域の生活を支える農道機能の発揮

- ▶ 農道保全対策計画に基づく路面補修 1.6km 及び2橋の橋梁補修を実施した。

## ◆ 事業を契機とした担い手への農地集積

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 営農条件改善のための整備 ----- 農道整備の実施 ※ 仙之入	▶ 営農条件改善のための整備 ----- 農道整備の実施 ※ 仙之入	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・ 営農条件改善に向けた農道整備工 L=0.4km の整備を実施した。 ・ 次年度の円滑な事業推進に向けて、調整池兼沈砂池及び農道整備に係る実施設計を取りまとめた。また、年度内に用地買収契約並びに移転登記を完了した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・ 引き続き営農条件改善並びに土砂流出の防止に向け、事業推進を図る。 ・ 建設業者が台風第 19 号に係る早期の災害復旧工事を優先的に実施しているため、円滑な農道整備並びに調整池兼沈砂池の設置に向け、地元関係者、建設業者、及び関係機関等との協議、調整を図る。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
農業農村整備事業実施区域内の農地集積率 [%]						
目 標	—	—	50	50	52	50%以上
実 績	47	47	47	52	54	57

※ 数値は、単年度取組値。

## ◆ 野生鳥獣被害の防止

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 1 町を支援 ※ 東吾妻町	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 2 町村を支援 ※ 高山村、東吾妻町	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・ 小規模農村整備事業でイノシシ除け等の電気柵の設置を支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・ 農作物被害の軽減、農業経営の安定化のため、早期の事業完了に向け支援する。 ・ 引き続き管内の野生鳥獣被害対策を推進する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
野生鳥獣被害防止対策を支援した町村数 [町村]						
目 標	—	—	2	2	3	3
実 績	(3)	—	2	3	3	4

※ 基準年の ( ) 内は、過去 4 年間 (H25~27) の実績であり、4 年間で同数の実施・支援を目指した。

数値は単年度取組数。なお、最終年度は市町村 (年度の重複を除く) の累計値。

## ◆ 生産・流通と農村地域の生活を支える農道機能の発揮

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 保全対策計画に基づく、保全対策 ----- 3地区を実施</li> <li>※ 中之条、大笹、榛名西麓1期</li> <li>▶ 保全対策計画に基づく、橋梁補修 ----- 2地区を実施</li> <li>※ 中之条、大笹</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 保全対策計画に基づく、保全対策 ----- 3地区を実施</li> <li>※ 中之条、大笹、榛名西麓1期</li> <li>▶ 保全対策計画に基づく、橋梁補修 ----- 2地区を実施</li> <li>※ 中之条、大笹</li> </ul>	<b>C</b>
これまでの取組内容	<p><b>(今年度の取組内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中之条地区では、路面補修 L=0.18km、横断暗渠補修 2箇所、及び笛吹橋上部工補修を実施した。</li> <li>・大笹地区では、路面補修 L=0.88km 及び三子沢橋の下部工補修を実施した。</li> <li>・榛名西麓1期地区において、路面補修 L=0.51km を実施した。</li> </ul>		
現状分析 課 題 今後の予定	<p><b>(現状分析・課題・今後の予定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き保全対策計画に基づく保全対策を推進し、農道機能の維持・発揮を図る。</li> <li>・建設業者が台風第19号に係る早期の災害復旧工事を優先的に実施しているため、円滑な農道保全対策の実施に向け、地元関係者、建設業者、及び関係機関等との協議、調整を図る。</li> </ul>		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
<b>基幹的な農道の保全対策の実施延長 [km]</b>						
目 標	—	—	7.8	11.0	11.6	12.4
実 績	4.1	4.5	5.0	6.0	7.9	9.5

※ 数値は、累計値。

## 「里」の保全整備

- ▶ 地すべりの前兆現象が現れた地すべり防止区域において、地すべりによる被害を防ぐ対策を行うことにより、区域内の農地及び農業用施設等を保全する。
- ▶ 農村の生活環境を支える農業集落排水施設について、適切に維持するための構想策定を支援するなど、農村地域の生活環境を保全する。

## 【当該年度評価の総括】

## 1 地すべり防止区域における農地・国土保全

- ▶ 円滑な施設監視等に向けた機能保全計画を策定した。また、概成後の地すべり変位状況を確認するため観測調査を実施した。

## 2 農業集落排水施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減

- ▶ 最適整備構想に基づき、長寿命化に向けた機能強化を図るための調査設計の策定を支援した。

## ◆ 地すべり防止区域における農地・国土保全

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 地すべりの機能保全計画策定 ----- 1地区を実施 ※ わらび峠	▶ 地すべりの機能保全計画策定 ----- 1地区を実施 ※ わらび峠	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・適時適切な保全対策及び円滑な施設監視に向けた機能保全計画を策定した。 ・地すべりの変位状況確認を行うため、地下水及び亀裂等の観測を実施した。 地すべり監視体制構築のため、地域住民との監視協定を締結した。		
現状分析課題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・今後、機能保全計画に基づく保全対策及び施設監視により、地域防災力の向上を図る。 ・継続した観測調査の実施により、常時、地すべりの変位状況に注視し、必要に応じて次期対策の検討を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>地すべり対策工事完了地区数 [地区]</b>						
目 標	—	—	—	—	→	1
実 績	—	—	—	1	1	1
<b>地すべり防止施設の機能保全計画の策定地区数 [地区]</b>						
目 標	—	—	—	1	→	1
実 績	—	—	—	0	→	1

※ 数値は、単年度取組数。

## ◆ 農業水利施設（ため池を除く）における耐震性能の確認

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 耐震化対策の実施設計 ----- 1地区を実施 ※ 美野原2期	▶ 耐震化対策の実施設計 ----- 1地区を実施 ※ 美野原2期	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・鷺尾沢掛樋について、次年度の円滑な耐震化対策に向けた実施設計を取りまとめた。		
現状分析課題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・実施設計に基づく耐震化対策が、早期に着手可能となるよう、地元地権者及び関係機関と協議・調整を図る ・また、今後も計画的な耐震化対策を進めて行くため、順次対策を行っていく。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>耐震性能を確認した農業水利施設（ため池除く）数 [施設]</b>						
目 標	—	—	—	9	9	9
実 績	—	—	—	9	9	9

※ 数値は、累計値。

## ◆ 農業集落排水施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業集落排水施設の長寿命化対策 ----- 2町を支援 ※ 中之条町、長野原町	▶ 農業集落排水施設の長寿命化対策 ----- 2町を支援 ※ 中之条町、長野原町	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・最適化整備構想に基づき、機能強化を図るための調査設計の策定を支援した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・施設の長寿命化計画に基づき、着実な機能強化対策の実施に向け支援を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
農業集落排水施設の最適整備構想策定町村数 [町村]						
目 標	—	—	1	2	5	5
実 績	—	—	1	2	5	5

※ 数値は、累計値。

## 「協働」

- ▶ 農地・農業用施設について、適切に維持管理し、これらの資源を次世代へ引き継ぐとともに、地域で取り組む協働活動を支援することにより、農村地域の活力向上を図る。
- ▶ 農業農村及び地域資源を保全することへの県民の理解促進を図る。

## 【当該年度評価の総括】

## 1 地域ぐるみの活動促進による地域コミュニティ機能の発揮

- ▶ 新たに取り組みを検討している地域で事業制度説明会を開催し、取り組み面積拡大に向け支援を行った。

## 2 地域の実情に即した将来像の検討

- ▶ 地域の取組活動継続のため、関係組織に対し中之条町と協力し合併の促進を図った。

## 3 農業農村及び地域資源を保全することへの県民の理解促進

- ▶ 高校生の地域資源の保全に対する理解を深めるため、水路補修実習を行う予定で進めていたが、台風第19号の影響により今年度の開催は見送りとなった。

## ◆ 地域ぐるみの活動促進による地域コミュニティ機能の発揮

## ・地域資源の保管理活動推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 地域資源の維持・保全が図られた農地 ----- 2,535ha を支援	▶ 地域資源の維持・保全が図られた農地 ----- 2,500ha を支援	B
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・制度周知、円滑な取り組みの支援のため、フォローアップ等を通じて支援を行った。 ・新たに取り組む地域の拡大を図るため、事業制度の説明会を開催した。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・活動の継続及び拡大を図るため、町村及び活動組織への支援を行う。		

## ・地域資源の保安全管理活動推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ モデル地区における活動組織の広域化 検討 ----- 1地区で検討	▶ モデル地区における活動組織の広域化 検討 ----- 1地区で検討	A
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・組織の高齢化により活動の継続が危ぶまれている組織の町担当者と協力し、関係組織と意見交換を行い、広域化(合併)の促進を図った。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・引き続き活動の継続に向け、合併や広域組織化を目指す関係活動組織に対し、町村と連携を図り意見交換を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落数 [集落]</b>						
目 標	—	—	47	68	78 (53)	78(58)
実 績	35	53	68	78	78	78
<b>農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積 [ha]</b>						
目 標	—	—	1,972	1,989	2,522	2,535
実 績	1,321	1,887	1,954	2,522	2,535	2,500
<b>地域構想づくり支援実施モデル地区数 [地区]</b>						
目 標	—	—	—	—	→	1
実 績	—	—	—	—	1	1

※ 数値は、累計値。

※ 実績値が H31(R元)目標値を超えた場合、次年度の目標値に前年度の実績値を標記し、当初目標値を括弧で標記。

## ◆ 農業農村及び地域資源を保全することへの県民の理解促進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 吾妻中央高校と連携した地域資源の 保全活動等 ----- 1地区を支援 ※ 美野原	▶ 吾妻中央高校と連携した地域資源の 保全活動等 ----- 1地区を支援 ※ 美野原	—
これまでの取組内容	<b>(今年度の取組内容)</b> ・地域資源の保全に係る水路の機能診断や補修実習を実施するため、吾妻中央高校や農村整備建設協会と打合せを行い、実施に向けた調整を図った。 ・しかし、吾妻管内は台風第19号に伴う災害が多く発生し、災害復旧対応を優先する必要があるため、農村整備建設協会や高校側と協議の結果、今年度の開催を見送った。		
現状分析 課 題 今後の予定	<b>(現状分析・課題・今後の予定)</b> ・今後も引き続き実践活動の継続に向けた支援を行う。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>地域住民や学校教育との連携による理解促進への取り組み回数 [回]</b>						
目 標	—	—	2	4	6	8
実 績	—	—	2	4	6	6

※ 数値は、昨年度からの累計値。